

平成28年度各部の重点取組の取組結果

部(局)名	土木部
部(局)長名	松本 利久

【基本姿勢】

道路や公園は高質で安全なまちを支え、社会活動の基盤であり市民生活に潤いと豊かさを与えるものです。

これらストックを現世代のみならず次世代へも良好に引き継いでいくため、各種点検・調査を行い事後対応から、事故を未然に防止するため、予防保全に重点を置いた計画的な維持管理に努めていきます。

また、都市計画道路整備や地域の再整備を図り、安全で快適な都市基盤をつくり、まちの魅力を向上させていきます。

【達成度について】

A：達成（設定した目標を達成することができた。）

B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）

C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。）

【重点課題】

	重点課題	平成28年度 達成状況
1	持続可能なインフラマネジメントの推進	B
2	うるおい豊かなみどりのまちづくり	A
3	過度の車依存からの脱却	B
4	都市基盤の整備	B

部(局)名	土木部
-------	-----

重点課題 1	持続可能なインフラマネジメントの推進
--------	--------------------

全体の達成度

B

一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	道路の適切な維持管理に取り組むため、道路ストック総点検事業の調査結果により作成した維持管理基本計画を基に、舗装更新を行う路線の抽出や事業費の平準化に努めます。公園についても公園施設長寿命化計画に基づいた維持管理を進めていきます。適切な維持管理費用を「まちの固定費」と捉え、「まちの品格」を保つよう適切な維持管理費の確保に努めます。
---------------------	---

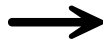
活動目標
平成27年度実施の路面性状調査を加味し、道路ストック(舗装)の補修計画のフォローアップを行います。舗装補修計画に抽出された路線において他企業と調整の上、舗装範囲を決定し、事業を展開していきます。
道路法施行規則の改正に伴い義務付けられた、橋梁の点検を実施します。大阪府による一括発注システムを活用しながら、本市の管理橋梁約200橋を3か年で点検します。
公園等の計画的な維持補修を行うために、施設ごとの維持管理方針の検討を進めます。
道路や公園の樹木の現状を把握し、市民に危険を及ぼす危険リスクを最小限に抑えます。

具体的な取組実績
平成27年度実施の路面性状調査結果に基づく5か年の補修計画を追加しました。また、平成26年度実施の路面性状調査結果に基づく5か年の補修計画に基づく舗装の修繕工事を9本発注しました。
平成28年度は、大阪府による一括発注システムを活用し38橋の橋梁点検を行いました。また、他の業務において2橋の橋梁点検を行いました。
公園施設ごとの調査やデータ整理は実施されているものの、各施設ごとの維持管理方針の策定には至っていません。
平成27年度に実施した樹木健全度緊急調査の結果を分析し、剪定・伐採等の処置を要する樹木の本数や優先度等を整理しました。また、伐採処置を要すると診断された樹木の割合が著しく高い及び低い路線を対象として、樹木の生育状況や植栽環境から要因を分析しました。

達成目標
舗装補修計画における更新率の達成目標を40%とします。
近接目視による橋梁の点検を38橋行います。また、橋梁の耐震補強を1橋、長寿命化を1橋、その他1橋の計3橋の対策を行うこととします。

達成状況	達成度
平成26年度実施の路面性状調査結果に基づく舗装補修計画の修繕完了距離は、他企業等の舗装復旧も含め、約4.6kmで、更新率は約53%です。	A 達成
平成28年度末におきまして、計42橋の橋梁点検が終了しました。また、橋梁の耐震補強を1橋、長寿命化を1橋、その他1橋の計3橋の対策も終了しました。	A 達成

公園施設のデータ整理を随時更新します。



公園管理システムを用いてさまざまな公園施設のデータ管理を行っていますが、更新作業が十分に行われていません。

B

一部達成

樹木健全度緊急調査業務の診断結果を踏まえ、倒伏による事故発生の危険性のある樹木に措置を講じます。予防保全的な維持管理を計画的に進めるため「(仮称)吹田市樹木適正管理指針」を策定します。



調査対象樹木20,174本のうち、平成28年度末までに処置を要すると判断した危険木6,565本(うち伐採1,006本)の処置を完了しました。また、「(仮称)樹木適正管理指針」の策定に向けて、学識経験者や専門家等で構成する「(仮称)樹木適正管理指針策定検討会議」を設置し、会議を4回開催しました。検討を重ねる中で、当初予定していなかった検討項目が生じ、平成28年度内の策定が困難となったため、平成29年9月末の策定を目指し、作業を進めています。

A

達成

総合評価・総括

道路や橋梁などの社会基盤を適切に維持管理するために、事後対応型の維持管理から予防保全型の維持管理に重点を置き、橋梁の点検や樹木適正管理指針の策定業務を行い、概ね達成できました。

今後は、市民の安全安心を守るため、橋梁点検の結果や樹木適正管理指針に基づき、計画的に維持補修を行っていきます。

部(局)名	土木部
-------	-----

重点課題 2	うるおい豊かなみどりのまちづくり
--------	------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	「まちに花を、公園に集う場を」を合言葉に、本市のブランドの1つである豊かなみどり環境を創り出すため、市民と一体となる取組を進めます。
---------------------	--

活動目標
千里花とみどりの情報センターを「みどりのシンクタンク」としての活用を進めていきます。
みどりのコミュニティ空間として、千里南公園にパークカフェの設置に向けた検討を行います。
みどりの保全意識の啓発を図るため、「千里の竹あかり」などの市民イベントの魅力を一層高めます。

具体的な取組実績
第2次みどりの基本計画（改訂版）の重点プロジェクト実施に関する検討会議へ4回参加、大学・市民等との意見交換会を13回実施しました。
設置支援委託業務を通じて、市場価値や先行事例の調査・研究、関係団体へのヒアリングを実施しました。また、千里南公園において5日間、公民館等においては2週間に渡って市民アンケート調査を実施しました。さらに社会実験を2日間実施しました。
「千里の竹あかり」のほか、「花と緑のフェア」、「たけのこ掘り」等、市民と協働するイベントを実施しました。

達成目標
公園利用の新たな可能性を探り、都市魅力の向上につなげます。
地域ごとに目指すべき緑被率目標を設定します。また、比較のみどりの少ない地域に対して、重点的に緑化を推進する施策を策定します。

達成状況	達成度
千里南公園パークカフェの設置に向けた調査、研究や、千里花とみどりの情報センターみどりのまちづくり実践型シンクタンク化のための仕組みづくりに向けた会議を実施し、マスタープランを策定しました。	A 達成
第2次みどりの基本計画（改訂版）において、市域を6ブロックに分けた地域ごとの目標値を設定しました。また、緑化重点地区を2地区設定しました。	A 達成

総合評価・総括
<p>一年を通じて憩うことができる新たなコミュニティ空間として、千里南公園パークカフェ設置の制度設計を完了しました。</p> <p>千里花とみどりの情報センターにおいて、みどりのまちづくり実践型シンクタンク化の計画であるマスタープランを策定しました。</p> <p>第2次みどりの基本計画（改訂版）において、地域別緑被率や緑化重点地区の設定等、基本施策の実効性を一層高めるためのアクションプランを設定しました。</p>

部(局)名	土木部
-------	-----

重点課題 3	過度の車依存からの脱却
--------	-------------

全体の達成度
B
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	公共交通を利用しやすい環境に整え利用促進を図ります。 自転車の安全な利用環境を整備することにより、総合的な自転車対策に取り組みます。
---------------------	---

活動目標
公共交通機関の乗継ぎにおける情報提供や自転車駐車を確保することにより、公共交通の利用環境の改善に努めます。
自転車の安全利用にかかる、「はしる」、「まもる」、「とめる」、「つかう」の4つを柱とした計画書の作成に取り組みます。

具体的な取組実績
市全域の鉄道や路線バスなどの公共交通の路線情報などを掲載した「吹田市公共交通マップ2017」を作成しました。作成費の一部について広告収入による財源を確保しました。 また、自転車駐車が不足する駅周辺において、増設に向けての土地所有者や関係者との協議を行っています。
計画書の作成に向けて学識経験者、自転車関係団体等で構成する自転車走行環境整備計画策定会議を3回開催し、意見等を聴取しました。

達成目標
利用者の視点に立った公共交通の情報提供、駅周辺における自転車駐車の確保に努めます。
「(仮称)自転車走行環境整備計画」の策定により、総合的な自転車対策に取り組みます。

達成状況	達成度
吹田市公共交通マップを市内転入口及び公共施設等で継続的に配布しました。 また、増設する自転車駐車場用地の一部について土地所有者と賃貸借契約を締結しました。	B 一部達成
平成29年3月に「吹田市自転車利用環境整備計画」を作成しました。	A 達成

総合評価・総括
<p>市内の公共交通、特に路線バスの維持、確保に向けて、市としても事業者との協力のもと利用促進は必須であると考えており、その取組の一つとして、わかりやすい情報提供として公共交通マップを継続的に作成し配布していくことは重要であると考えています。</p> <p>今後は、作成した自転車利用環境整備計画に基づき、関係部局が連携して円滑に事業を遂行していくことが重要です。</p> <p>さらに、自転車駐車が不足する駅周辺での自転車駐車の確保については、引き続き利用状況を注視しながら、用地確保も含め、自転車利用者が利用しやすい環境を整えていきます。</p>

部(局)名	土木部
-------	-----

重点課題 4	都市基盤の整備
--------	---------

全体の達成度
B
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	都市計画道路や市街地整備では、都市基盤整備を推進し都市機能の向上を図ります。
---------------------	--

活動目標
都市施設である都市計画道路事業を進め、安全で快適な道路整備を推進します。
地域にふさわしい安全で魅力的なまちづくりを目指し、阪急千里山駅周辺の整備を推進します。
「魅力あふれるにぎわいのあるまち」となるよう、千里南地区センターの再整備を推進します。

具体的な取組実績
3路線の都市計画道路事業については、年度計画に従い、当初予定の各工事の契約を全て締結し、街路築造工事等を実施しました。
駅東側において、駅前交通広場整備を実施するとともに、駅西側においては、街角広場及び歩道整備を一部実施しました。
駅前公共広場の整備を実施しました。

達成目標
それぞれ既に着手している街路築造工事、電線共同溝工事、今年度新たに着手する工事も含め、年度計画が達成できるよう整備等を行います。
千里山駅東側においては、地下埋設物等道路整備を進め、駅前交通広場の供用を開始し、駅西側では、駅アクセス道路の歩道整備等を行います。
南千里駅東側の歩行者（佐竹台）デッキや公共広場は、来春の完成に向け整備を行います。

達成状況	達成度
年度計画に沿って、3路線の都市計画道路の整備を推進しているところですが、都市計画道路千里山佐井寺線の一部において、工程調整に期間を要し、完成時期を延期しています。	B 一部達成
駅東側の駅前交通広場の供用を開始し、駅西側の踏切前の歩道整備が完了しました。	A 達成
事業工程の見直しにより、完成時期を一部延期しています。	B 一部達成

総合評価・総括
<p>都市計画道路南吹田駅前線立体交差事業及び都市計画道路岸部中千里丘線道路新設事業においては、概ね計画どおりに進めることができました。しかし、都市計画道路千里山佐井寺線道路新設事業においては、当初想定していない各種工事との工程調整に期間を要したことから、完成時期を延期することになり、都市計画道路事業については、当初目標の一部達成となっています。</p> <p>また、千里山駅周辺においては、駅東側の駅前交通広場が完成に伴い、地域によるまちびらきイベントが開かれる等、駅東側事業の一定の節目を迎え、当初の目標を達成したものです。</p> <p>南千里駅周辺においては、歩行者（佐竹台）デッキの整備工事の事業精査等により、一部工事を延期することとなったため、当初目標の一部達成と評価するものです。</p>